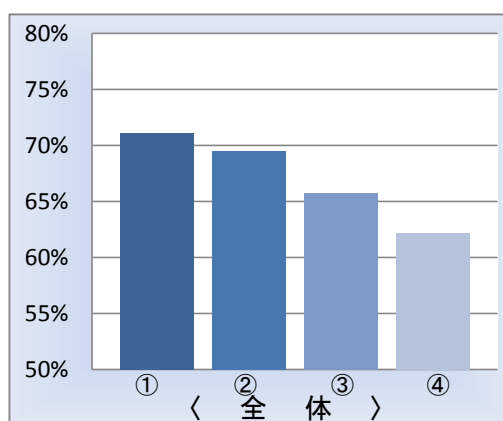
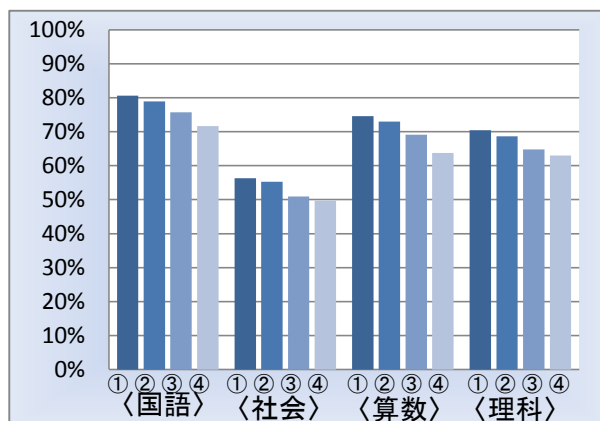


(5) 意識調査とペーパーテストの結果との相関分析

1 自分には、よいところがあると思いますか。

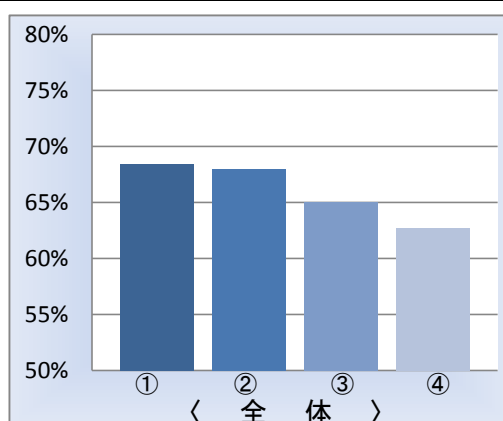
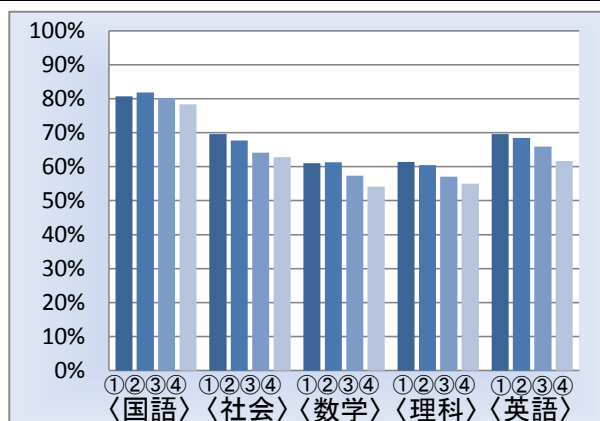
〈小学校〉 各回答別各教科等の平均正答率

	国語	社会	算数	理科		全体
① そう思う	80.6%	56.3%	74.5%	70.4%		71.1%
② どちらかという、と思う	78.9%	55.3%	73.0%	68.7%		69.5%
③ どちらかという、と思わない	75.7%	50.9%	69.1%	64.8%		65.7%
④ そう思わない	71.7%	49.7%	63.8%	63.0%		62.1%



〈中学校〉 各回答別各教科等の平均正答率

	国語	社会	数学	理科	英語	全体
① そう思う	80.7%	69.6%	61.0%	61.4%	69.6%	68.5%
② どちらかという、と思う	81.8%	67.7%	61.3%	60.5%	68.4%	68.0%
③ どちらかという、と思わない	80.1%	64.1%	57.4%	57.1%	65.9%	65.0%
④ そう思わない	78.4%	62.8%	54.2%	54.9%	61.7%	62.7%



【分析】

◇「自分のよさに気付いている」児童生徒ほど、正答率が高い傾向にある。

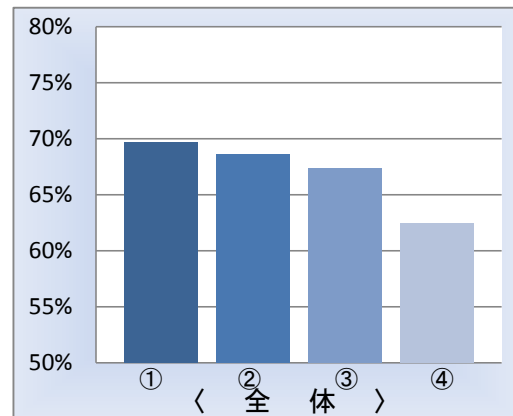
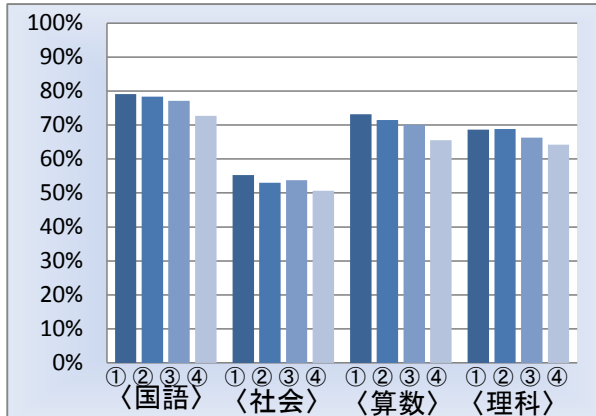
「自分には、よいところがあると思いますか。」について、「そう思う」を選択した児童生徒の平均正答率は70%程度で、「そう思わない」を選択した児童生徒より小学校で9.0%、中学校で5.8%上回っている。小学校の方が中学校より顕著な相関関係が見られる。

自分のよいところに気付くことによって、自分に自信をもって学習や生活に向かうことができるようになり、その結果、学力の向上につながっていくととらえることができる。

2 将来の夢や目標をもっていますか。

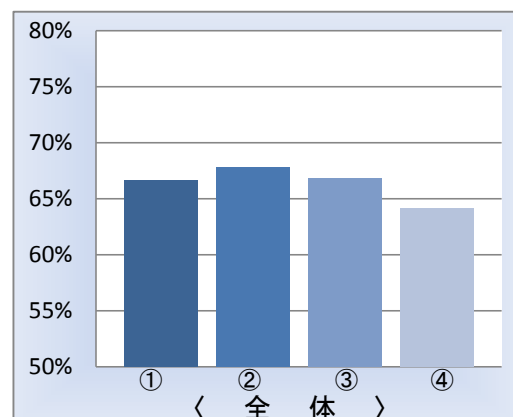
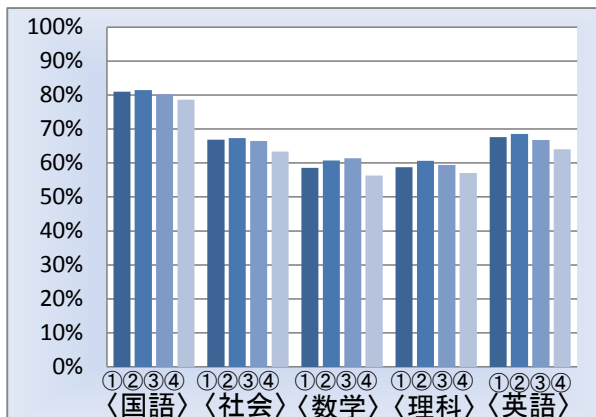
〈小学校〉 各回答別各教科等の平均正答率

	国語	社会	算数	理科	全体
① もっている	79.1%	55.3%	73.2%	68.6%	69.7%
② どちらかといえば、もっている	78.3%	53.0%	71.4%	68.8%	68.6%
③ どちらかといえば、もっていない	77.1%	53.8%	70.1%	66.3%	67.4%
④ もっていない	72.7%	50.7%	65.5%	64.3%	62.5%



〈中学校〉 各回答別各教科等の平均正答率

	国語	社会	数学	理科	英語	全体
① もっている	81.0%	66.9%	58.5%	58.8%	67.6%	66.6%
② どちらかといえば、もっている	81.4%	67.3%	60.8%	60.6%	68.5%	67.8%
③ どちらかといえば、もっていない	80.2%	66.5%	61.4%	59.4%	66.8%	66.9%
④ もっていない	78.6%	63.4%	56.3%	57.1%	64.1%	64.1%



【分析】

◇「将来の夢や目標をもっていない」児童生徒の正答率は、低い傾向にある。

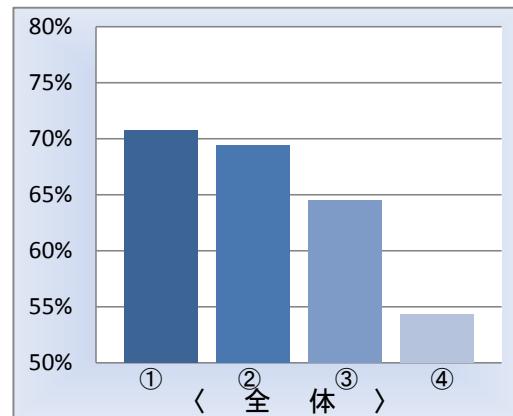
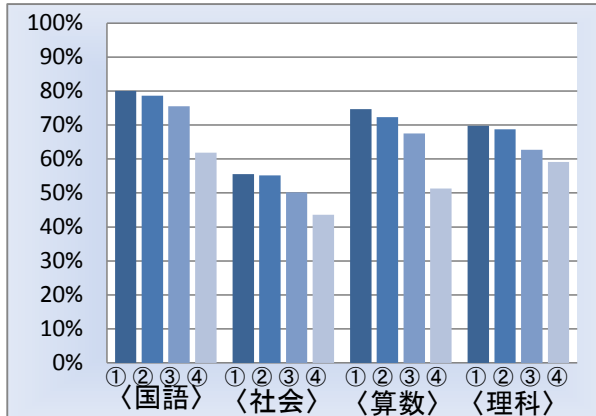
「将来の夢や目標をもっていない」児童生徒の平均正答率は、小学校で62.5%、中学校で64.1%である。小学校では「将来の夢や目標をもっている」児童より7.2%低くなっている。中学校では「将来の夢や目標をもっていない」生徒の平均正答率は他の項目を選択した生徒より低いものの、大きな差は見られない。

中学校では、小学校より「将来の夢や目標をもっていない」生徒が多く（98、103頁参照）、将来の夢や目標をもって学習に向かうことができるように指導の改善を図っていくことが大切である。

3 学校のきまりを守っていますか。

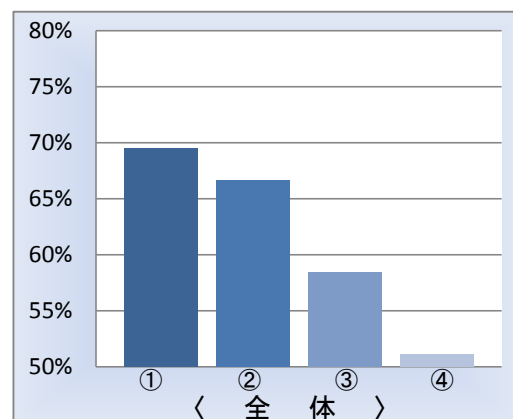
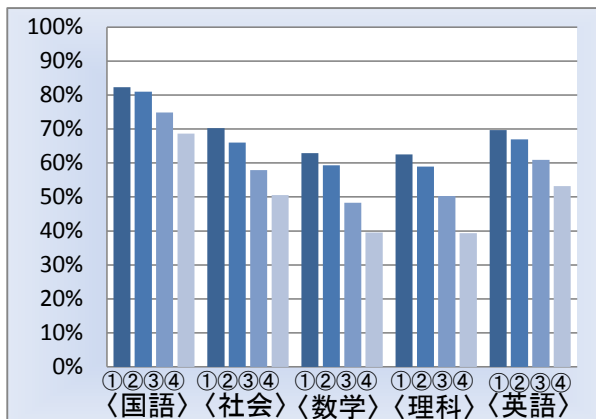
〈小学校〉 各回答別各教科等の平均正答率

	国語	社会	算数	理科	全体
① 守っている	80.0%	55.6%	74.7%	69.8%	70.7%
② どちらかといえば、守っている	78.6%	55.2%	72.3%	68.8%	69.4%
③ どちらかといえば、守っていない	75.5%	50.2%	67.5%	62.7%	64.5%
④ 守っていない	61.9%	43.6%	51.3%	59.2%	54.3%



〈中学校〉 各回答別各教科等の平均正答率

	国語	社会	数学	理科	英語	全体
① 守っている	82.3%	70.2%	62.9%	62.5%	69.7%	69.5%
② どちらかといえば、守っている	81.0%	66.0%	59.3%	58.9%	67.0%	66.6%
③ どちらかといえば、守っていない	74.9%	57.9%	48.3%	50.3%	60.9%	58.4%
④ 守っていない	68.6%	50.5%	39.6%	39.4%	53.2%	51.1%



【分析】

◇「学校のきまりを守っている」児童生徒ほど、正答率が高い傾向にある。

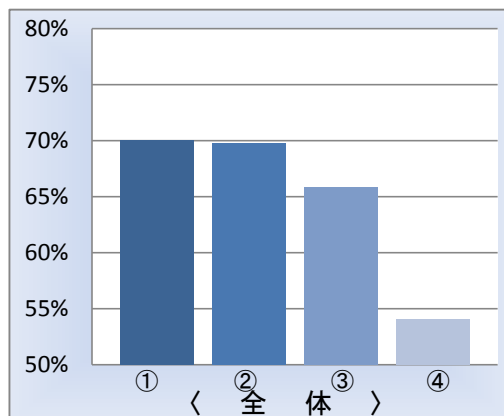
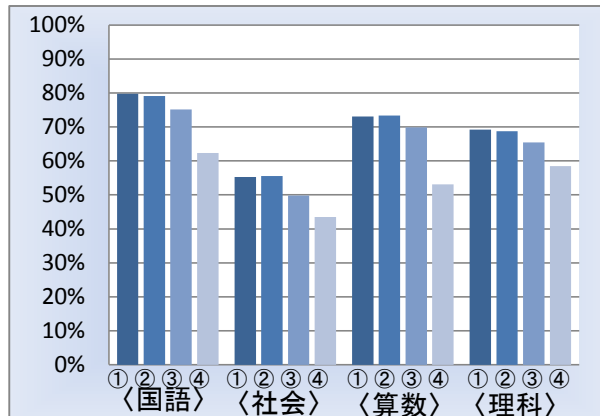
「学校のきまりを守っていますか。」について、「守っている」を選択した児童生徒の平均正答率は70%程度で、「守っていない」を選択した児童生徒より小学校で16.4%、中学校で18.4%上回っており、その差は大きい。教科別では、算数・数学に顕著な相関関係が見られ、「守っている」を選択した児童生徒の算数・数学の平均正答率は、「守っていない」を選択した児童生徒より小中学校ともに23.3%上回っている。

学力の定着と規則の遵守との相関関係を踏まえて、個に応じた学習や生活指導の充実を図っていく必要がある。

4 人が困っているときは、進んで助けていますか。

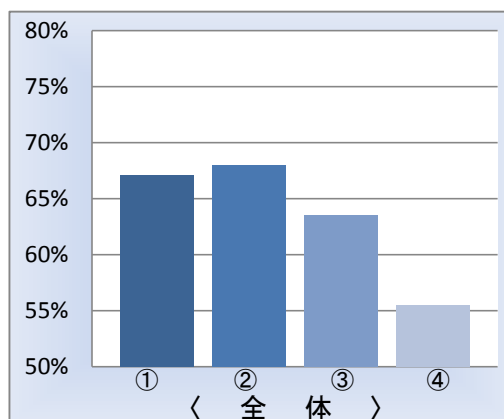
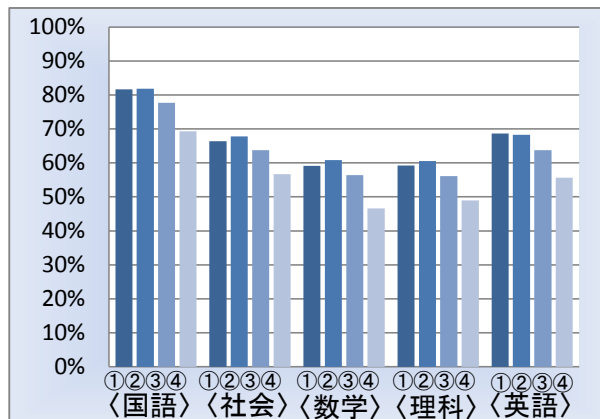
〈小学校〉 各回答別各教科等の平均正答率

	国語	社会	算数	理科	全体
① 助けている	79.7%	55.3%	73.1%	69.2%	70.0%
② どちらかといえば、助けている	79.1%	55.5%	73.3%	68.7%	69.8%
③ どちらかといえば、助けていない	75.1%	49.8%	69.9%	65.5%	65.9%
④ 助けていない	62.3%	43.5%	53.1%	58.4%	54.0%



〈中学校〉 各回答別各教科等の平均正答率

	国語	社会	数学	理科	英語	全体
① 助けている	81.7%	66.4%	59.1%	59.2%	68.6%	67.1%
② どちらかといえば、助けている	81.8%	67.8%	60.9%	60.6%	68.3%	68.0%
③ どちらかといえば、助けていない	77.6%	63.8%	56.4%	56.1%	63.7%	63.5%
④ 助けていない	69.3%	56.7%	46.6%	49.0%	55.7%	55.5%



【分析】

◇「人が困っているときは、進んで助けていない」児童生徒の正答率は、低い傾向にある。

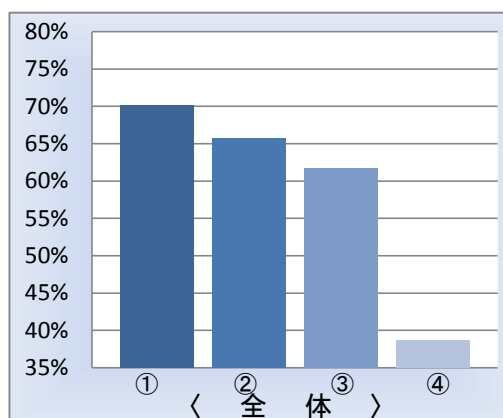
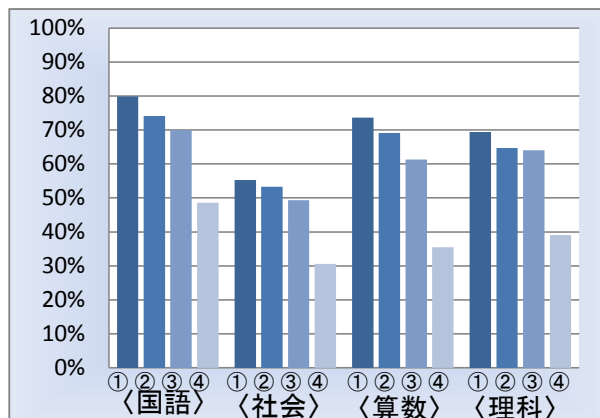
「人が困っているときは、進んで助けていますか。」について、「助けていない」を選択した児童生徒の平均正答率は、小学校で54.0%、中学校で55.5%と低い値である。「助けている」を選択した児童生徒と「どちらかといえば助けている」を選択した児童生徒とを比べると平均正答率に差はない。「助けている」を選択した児童生徒と「助けていない」を選択した児童生徒と比べると、「助けている」を選択した児童生徒の方が、小学校で16.0%、中学校で11.6%上回っている。

学力の定着と親切な行動との相関関係を踏まえて、個に応じた学習や生活指導の充実を図っていく必要がある。

5 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

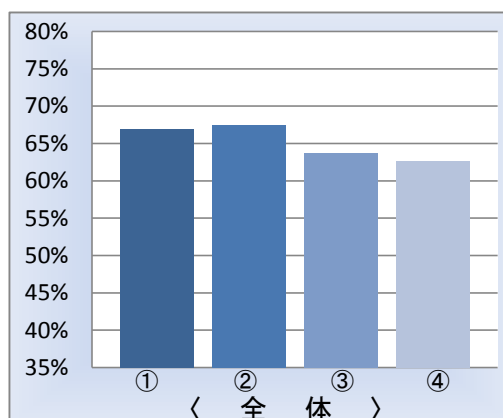
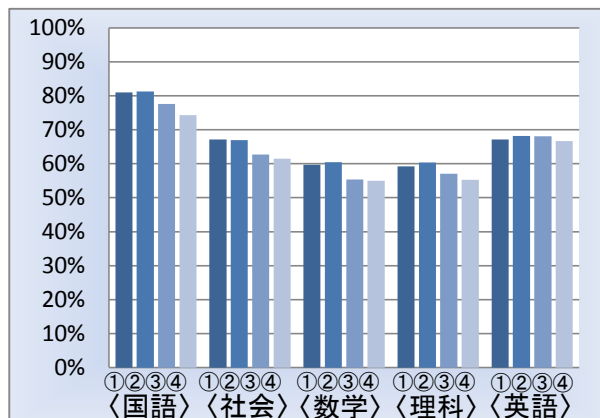
〈小学校〉 各回答別各教科等の平均正答率

	国語	社会	算数	理科	全体
① そう思う	79.9%	55.2%	73.6%	69.4%	70.2%
② どちらかという、そう思う	74.1%	53.3%	69.1%	64.7%	65.8%
③ どちらかという、そう思わない	70.0%	49.3%	61.3%	64.1%	61.7%
④ そう思わない	48.6%	30.6%	35.5%	39.1%	38.7%



〈中学校〉 各回答別各教科等の平均正答率

	国語	社会	数学	理科	英語	全体
① そう思う	81.0%	67.1%	59.7%	59.2%	67.1%	67.0%
② どちらかという、そう思う	81.3%	66.9%	60.4%	60.4%	68.2%	67.5%
③ どちらかという、そう思わない	77.6%	62.7%	55.4%	57.0%	68.1%	63.7%
④ そう思わない	74.3%	61.5%	55.0%	55.3%	66.7%	62.6%



【分析】

◇「いじめに対して正しい認識をもっている」児童生徒の正答率は高く、「間違った認識をもっている」児童生徒の正答率は低い傾向にあり、その差は小学校において大きい。

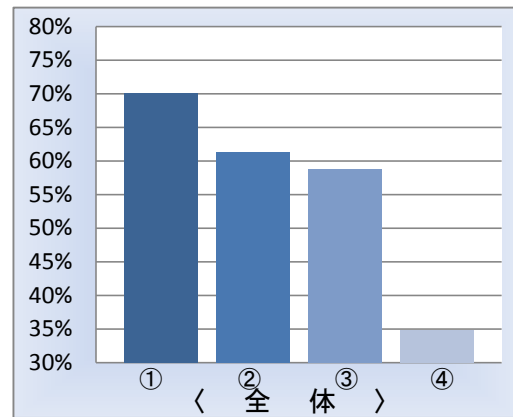
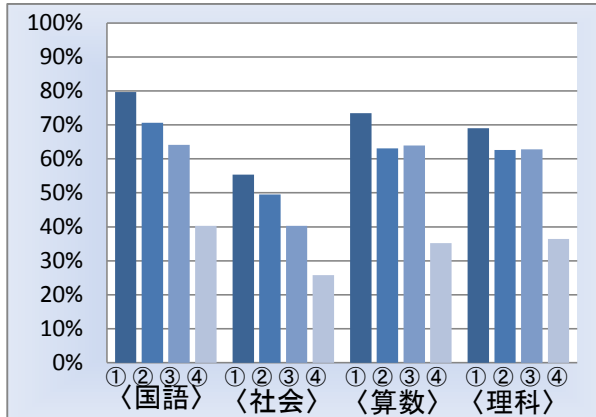
「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」について、小学校では「そう思う」児童の平均正答率が70.2%で、「そう思わない」児童の平均正答率を31.5%上回った。算数では「そう思う」児童と「そう思わない」児童との正答率に38.2%の差があった。一方、中学校では「そう思う」生徒の平均正答率が67.0%に対して、「そう思わない」生徒の平均正答率が62.6%で、4.4%の差があった。

いじめ問題の解決に向けて、一人一人のいじめ問題に対する認識（98、103頁参照）と学力・学習状況をきめ細かくとらえて、個に応じた学習や生活指導の充実を図っていく必要がある。

6 朝食を毎日食べていますか。

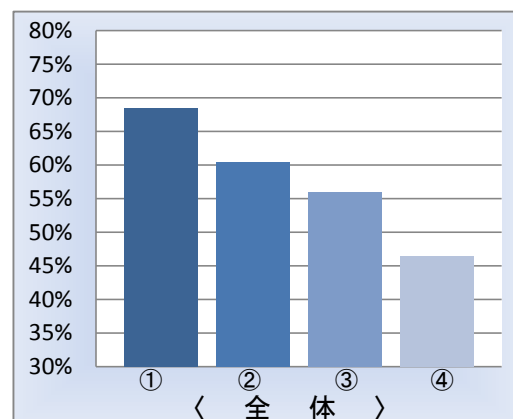
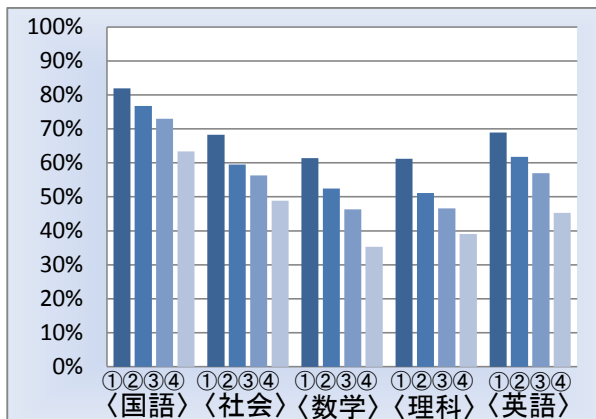
〈小学校〉 各回答別各教科等の平均正答率

	国語	社会	算数	理科	全体
① 毎日食べている	79.6%	55.4%	73.4%	69.1%	70.0%
② どちらかといえば、食べている	70.6%	49.5%	63.1%	62.6%	61.3%
③ どちらかといえば、食べていない	64.1%	40.3%	63.9%	62.8%	58.8%
④ 食べていない	40.3%	25.8%	35.3%	36.4%	34.9%



〈中学校〉 各回答別各教科等の平均正答率

	国語	社会	数学	理科	英語	全体
① 毎日食べている	81.9%	68.3%	61.4%	61.2%	68.9%	68.4%
② どちらかといえば、食べている	76.7%	59.5%	52.4%	51.1%	61.8%	60.4%
③ どちらかといえば、食べていない	73.0%	56.3%	46.3%	46.6%	57.0%	55.9%
④ 食べていない	63.4%	48.8%	35.3%	39.1%	45.3%	46.4%



【分析】

◇「朝食を毎日食べている」児童生徒ほど、正答率が高い傾向にある。

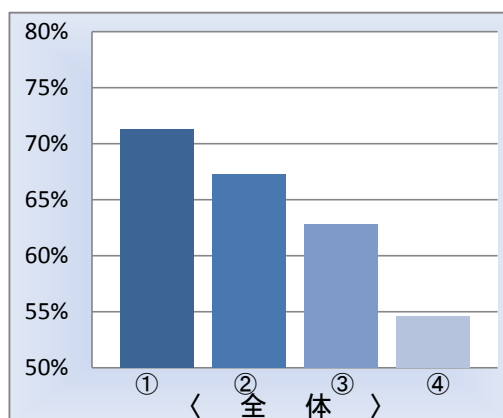
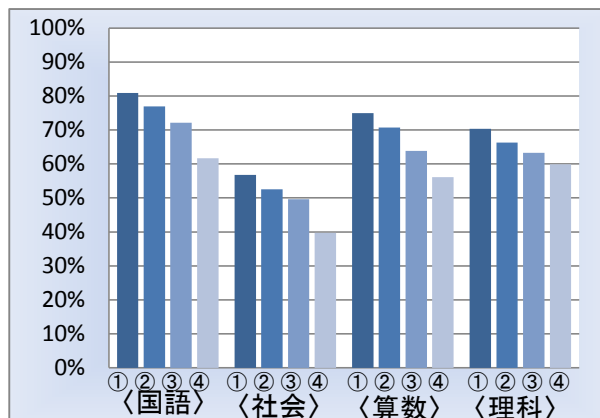
「朝食を毎日食べていますか。」について、「毎日食べている」を選択した児童生徒の平均正答率は70%程度で、「食べていない」を選択した児童生徒より小学校で35.1%、中学校で22.0%上回っており、その差は大きい。平成19年度の調査では、「毎日食べている」と「食べていない」との正答率の差が、小学校で19.4%、中学校で8.2%であったことから、「朝食を食べる」と学力との相関が一層顕著になってきているといえる。なお、「朝食を食べていない」児童生徒数の割合は、平成19年度と比較して小学校では減少しているが、中学校では増加している。（98、103頁参照）

望ましい食生活の在り方の指導を、栄養教諭や養護教諭、保護者等と連携を図り、様々な機会をとらえて繰り返し行っていく必要がある。

7 学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめていますか。

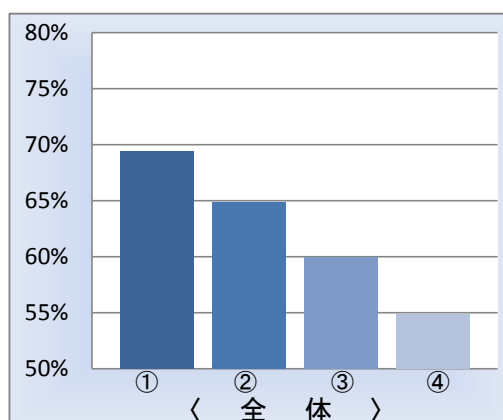
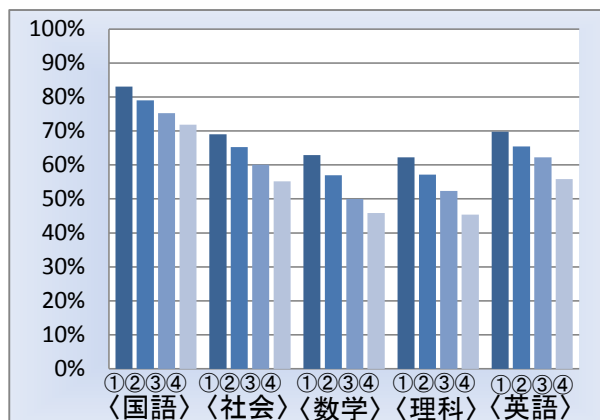
〈小学校〉 各回答別各教科等の平均正答率

	国語	社会	算数	理科	全体
① 確かめている	80.9%	56.8%	74.9%	70.3%	71.3%
② どちらかといえば、確かめている	76.9%	52.5%	70.7%	66.3%	67.3%
③ どちらかといえば、確かめていない	72.2%	49.6%	63.8%	63.3%	62.8%
④ 全く確かめていない	61.6%	39.7%	56.1%	59.9%	54.6%



〈中学校〉 各回答別各教科等の平均正答率

	国語	社会	数学	理科	英語	全体
① 確かめている	83.0%	69.1%	62.9%	62.2%	69.7%	69.5%
② どちらかといえば、確かめている	79.0%	65.2%	56.9%	57.1%	65.5%	64.9%
③ どちらかといえば、確かめていない	75.2%	60.1%	50.0%	52.4%	62.3%	60.0%
④ 全く確かめていない	71.8%	55.2%	45.8%	45.3%	55.8%	54.9%



【分析】

◇「学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめている」児童生徒ほど、正答率が高い傾向にある。

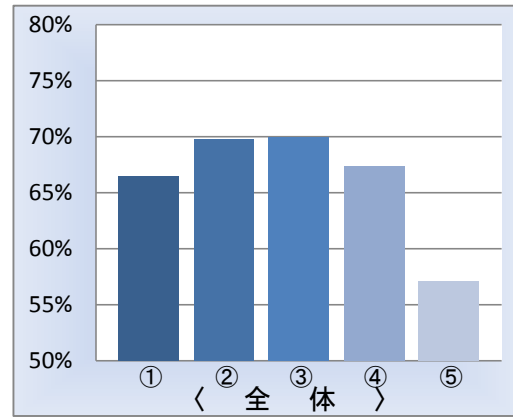
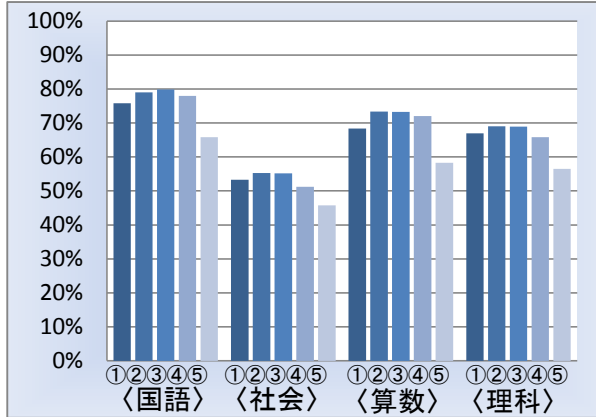
「学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめていますか。」について、「全く確かめていない」を選択した児童生徒の平均正答率は小中学校ともに55%程度であった。「どちらかといえば確かめていない」「どちらかといえば確かめている」「確かめている」の順に平均正答率は上昇し、「確かめている」は小中学校ともに70%程度となっている。

学習の準備をしっかりと行うことは、授業で困らないだけでなく、授業に対する目標や見通しをもつことになり、そのことが学力の向上につながっているととらえることができる。

8 ふだん(月曜日から金曜日)、どれくらいの時刻に寝ていますか。

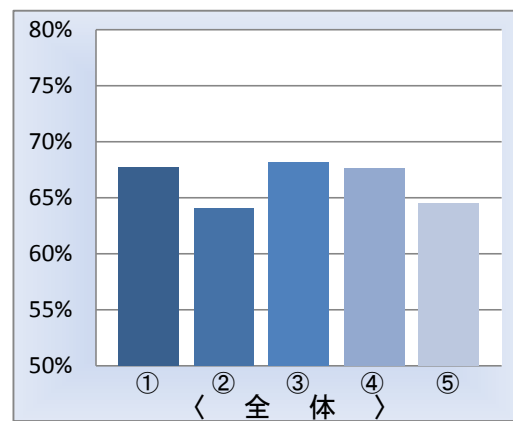
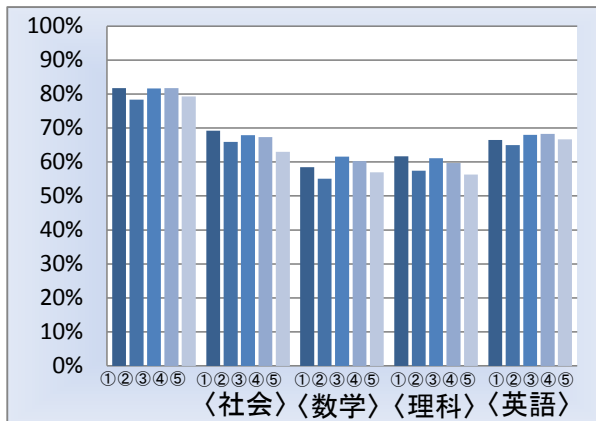
〈小学校〉 各回答別各教科等の平均正答率

	国語	社会	算数	理科	全体
① 9時より前	75.8%	53.3%	68.3%	67.0%	66.5%
② 9時から10時より前	79.0%	55.2%	73.3%	69.0%	69.7%
③ 10時から11時より前	79.8%	55.2%	73.3%	68.9%	70.0%
④ 11時から12時より前	78.0%	51.2%	72.0%	65.8%	67.4%
⑤ 12時または12時より後	65.8%	45.8%	58.3%	56.5%	57.1%



〈中学校〉 各回答別各教科等の平均正答率

	国語	社会	数学	理科	英語	全体
① 9時より前	81.8%	69.2%	58.4%	61.7%	66.5%	67.7%
② 9時から10時より前	78.3%	65.9%	55.1%	57.4%	65.0%	64.0%
③ 10時から11時より前	81.6%	67.9%	61.6%	61.1%	68.0%	68.2%
④ 11時から12時より前	81.7%	67.3%	60.3%	59.7%	68.3%	67.6%
⑤ 12時または12時より後	79.2%	63.0%	56.9%	56.3%	66.7%	64.5%



【分析】

◇小学校では「ふだん(月曜日から金曜日) 9時から11時の間に寝ている」児童の正答率は、高い傾向にある。

「ふだん(月曜日から金曜日)、どれくらいの時刻に寝ていますか。」について、小学校では「9時から10時より前」「10時から11時より前」を選択した児童の平均正答率は70%程度で一番高く、「12時または12時より後」を選択した児童の平均正答率は57.1%で一番低い値を示している。

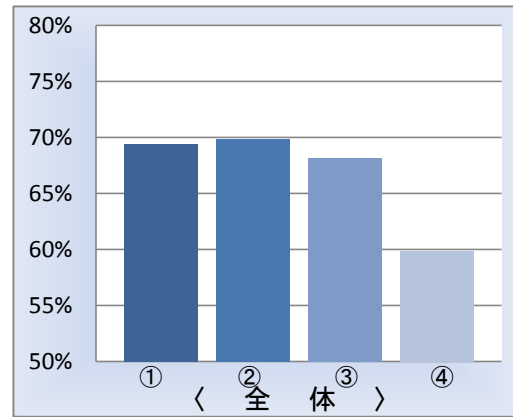
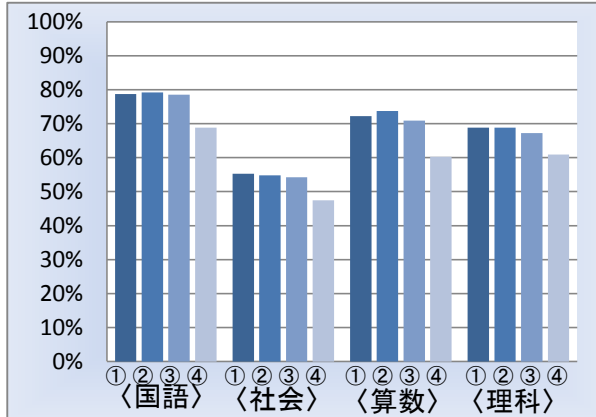
中学校では、就寝時刻と学力との相関関係は見られなかった。

学校での授業に集中することができるようにするために、適切な睡眠時間の確保について発達の段階を踏まえて指導をしていく必要がある。

9 家の手伝いをしていますか。

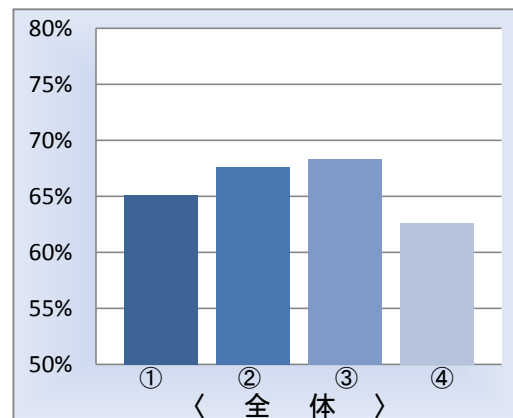
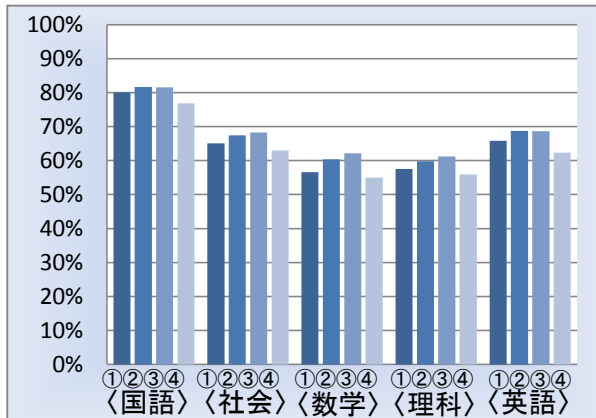
〈小学校〉 各回答別各教科等の平均正答率

	国語	社会	算数	理科	全体
① よくしている	78.7%	55.3%	72.2%	68.8%	69.4%
② ときどきしている	79.2%	54.8%	73.8%	68.9%	69.8%
③ あまりしていない	78.5%	54.2%	70.9%	67.3%	68.2%
④ 全くしていない	68.9%	47.5%	60.3%	60.9%	59.9%



〈中学校〉 各回答別各教科等の平均正答率

	国語	社会	数学	理科	英語	全体
① よくしている	80.0%	65.0%	56.6%	57.5%	65.8%	65.2%
② ときどきしている	81.6%	67.4%	60.4%	59.8%	68.7%	67.6%
③ あまりしていない	81.5%	68.3%	62.2%	61.2%	68.7%	68.3%
④ 全くしていない	76.8%	63.0%	55.0%	55.9%	62.4%	62.6%



【分析】

◇家の手伝いを「全くしていない」児童生徒の正答率は、低い傾向にある。

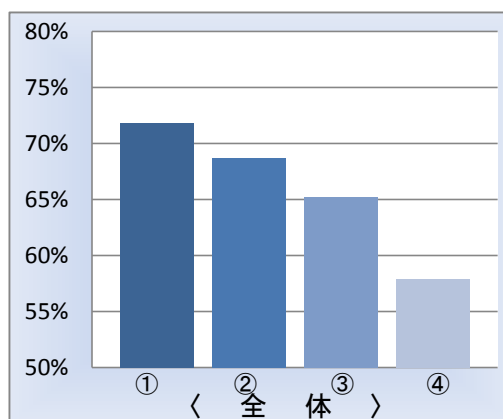
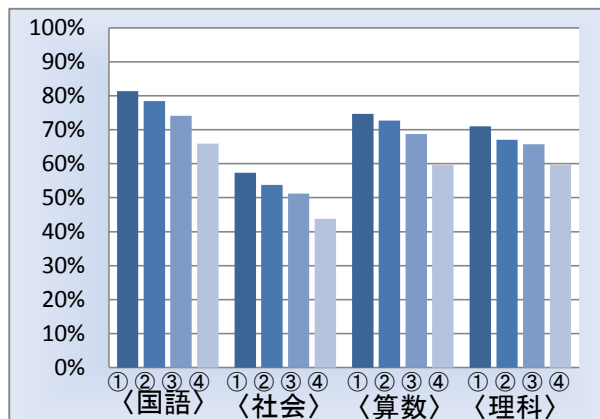
「家の手伝いをしていますか。」について、「全くしていない」を選択した児童生徒の平均正答率は、小学校で59.9%、中学校で62.6%で低い傾向にある。小学校では「よくしている」「ときどきしている」「あまりしていない」の差はほとんどなく、70%程度であった。中学校では「ときどきしている」「あまりしていない」が68%程度で、「よくしている」が65%程度であった。

家族の一員としての役割を果たすことによって自己有用感を感じたり、手伝いを通して家族との会話が増えたりすることが、学力の向上につながっていると考えられる。なお、家庭での仕事の負担が大きく家庭学習等が十分にできない児童生徒がいないかなど、個に応じた配慮が必要である。

10 家の人と、趣味や遊びのこと、進路や将来の仕事や生活、学校のできごとや友達のことなどについて、一緒に話をすることはありますか。

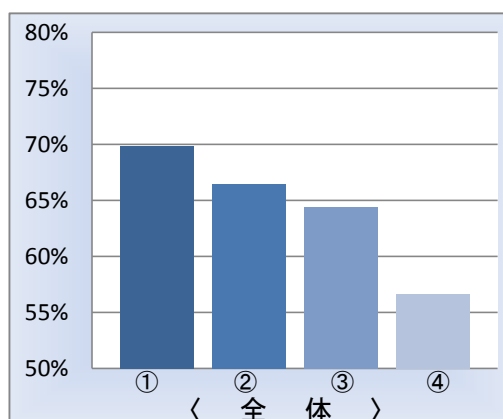
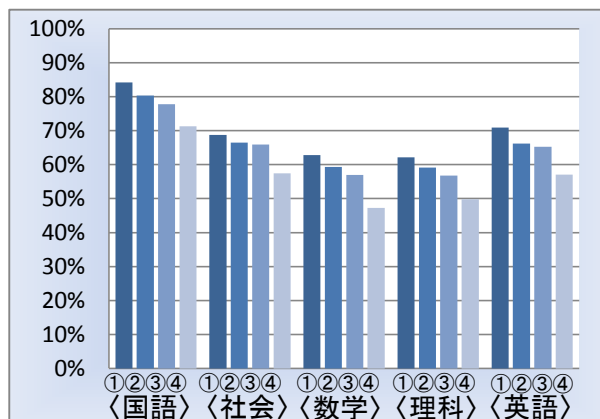
〈小学校〉 各回答別各教科等の平均正答率

	国語	社会	算数	理科	全体
① よくある	81.4%	57.3%	74.7%	71.0%	71.8%
② ときどきある	78.4%	53.8%	72.7%	67.1%	68.6%
③ あまりない	74.1%	51.3%	68.7%	65.7%	65.2%
④ 全くない	65.9%	43.8%	59.6%	59.6%	57.9%



〈中学校〉 各回答別各教科等の平均正答率

	国語	社会	数学	理科	英語	全体
① よくある	84.2%	68.7%	62.8%	62.1%	70.9%	69.9%
② ときどきある	80.3%	66.5%	59.3%	59.2%	66.2%	66.4%
③ あまりない	77.7%	65.9%	56.9%	56.8%	65.3%	64.4%
④ 全くない	71.3%	57.4%	47.3%	49.8%	57.1%	56.6%



【分析】

◇「家の人との会話が早い」児童生徒ほど、正答率が高い傾向にある。

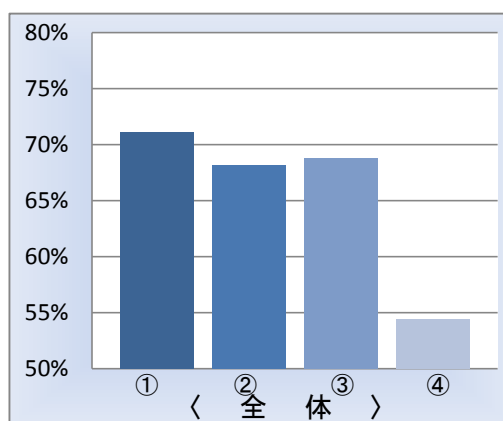
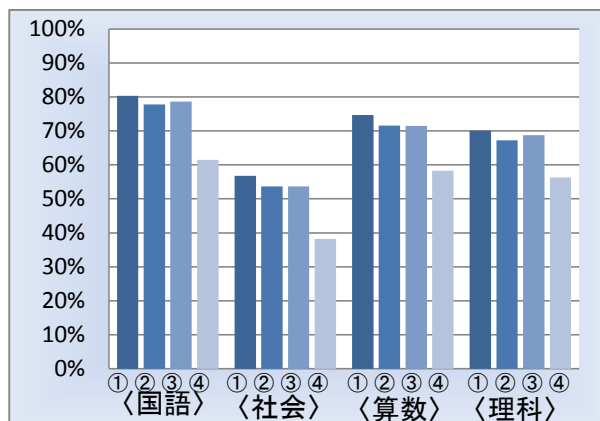
「家の人との趣味や遊びのこと、進路や将来の仕事や生活、学校のできごとや友達のことなどについて、一緒に話をすることはありますか。」について、小中学校ともに「よくある」を選択した児童生徒の平均正答率は70%程度で高い値である。「ときどきある」「あまりない」「全くない」の順に平均正答率は下がり、「全くない」では小中学校ともに57%程度となっている。教科別では、小学校の国語や算数、中学校の数学において、「よくある」と「全くない」の平均正答率の差が大きくなっている。

一人一人の家庭環境を踏まえながら、児童生徒が家の人とのコミュニケーションを深めることができるような働きかけを充実させていく必要がある。

11 やらなければならないことができていなかったり、やってはいけないことをしてしまったりしたときに、家の人から注意されることがありますか。

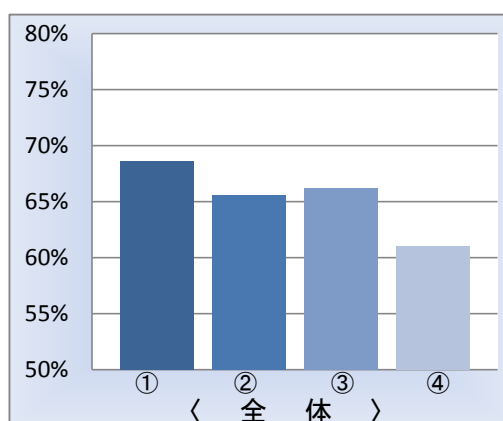
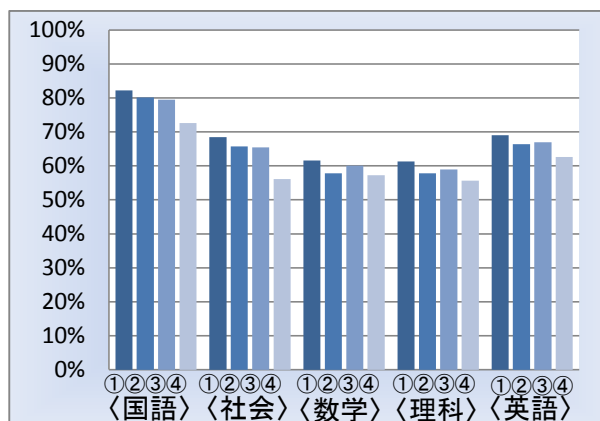
〈小学校〉 各回答別各教科等の平均正答率

	国語	社会	算数	理科	全体
① よくある	80.3%	56.8%	74.6%	70.1%	71.1%
② ときどきある	77.8%	53.7%	71.6%	67.2%	68.1%
③ あまりない	78.6%	53.7%	71.5%	68.7%	68.8%
④ 全くない	61.5%	38.2%	58.3%	56.3%	54.4%



〈中学校〉 各回答別各教科等の平均正答率

	国語	社会	数学	理科	英語	全体
① よくある	82.2%	68.4%	61.6%	61.3%	69.0%	68.6%
② ときどきある	80.1%	65.7%	57.8%	57.8%	66.4%	65.6%
③ あまりない	79.5%	65.4%	60.0%	59.0%	67.0%	66.2%
④ 全くない	72.6%	56.1%	57.3%	55.6%	62.6%	61.0%



【分析】

◇「家の人から注意されることが全くない」児童生徒の正答率は、低い傾向にある。

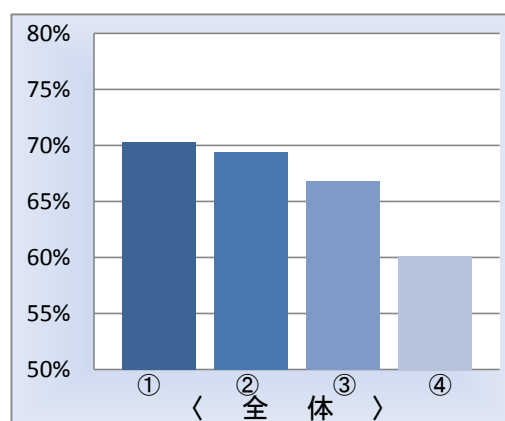
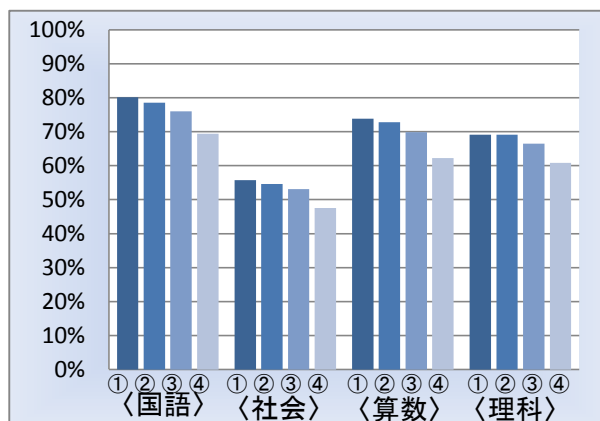
「やらなければならないことができていなかったり、やってはいけないことをしてしまったりしたときに、家の人から注意されることがありますか。」について、「全くない」を選択した児童生徒の平均正答率は低く、小学校で54.4%、中学校で61%となっている。小学校では「よくある」「ときどきある」「あまりない」が70%前後であり、「全くない」が極めて低い値を示している。

「全くない」を選択した児童生徒の家庭では、様々な事情から子どもに対する教育力が低下していると考えられ、そのことが学力の低下につながっているといえる。それぞれの家庭環境に配慮して、個に応じた指導・援助を行っていくことが大切である。

12 勉強やスポーツ、習い事などでがんばっているときに、家の人からほめられたり、はげめされたりすることがありますか。

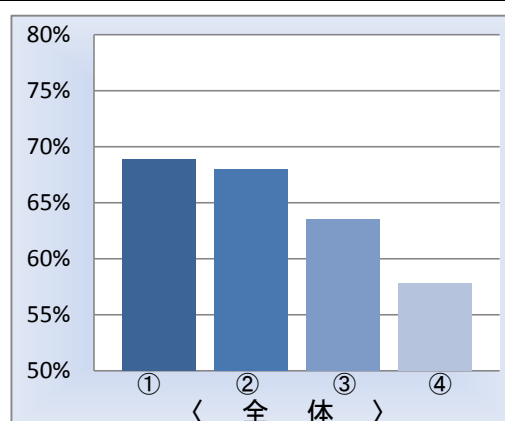
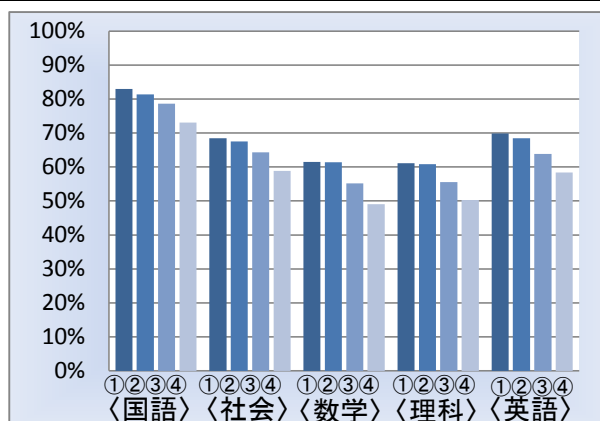
〈小学校〉 各回答別各教科等の平均正答率

	国語	社会	算数	理科	全体
① よくある	80.1%	55.7%	73.9%	69.1%	70.3%
② ときどきある	78.5%	54.6%	72.7%	69.1%	69.5%
③ あまりない	76.0%	53.1%	69.9%	66.5%	66.8%
④ 全くない	69.4%	47.5%	62.2%	60.8%	60.1%



〈中学校〉 各回答別各教科等の平均正答率

	国語	社会	数学	理科	英語	全体
① よくある	83.0%	68.5%	61.5%	61.1%	69.9%	68.9%
② ときどきある	81.3%	67.5%	61.4%	60.8%	68.5%	67.9%
③ あまりない	78.6%	64.3%	55.1%	55.5%	63.8%	63.5%
④ 全くない	73.1%	58.9%	49.0%	50.3%	58.4%	57.8%



【分析】

◇「家の人からほめられたり、はげめされたりする」児童生徒ほど、正答率が高い傾向にある。

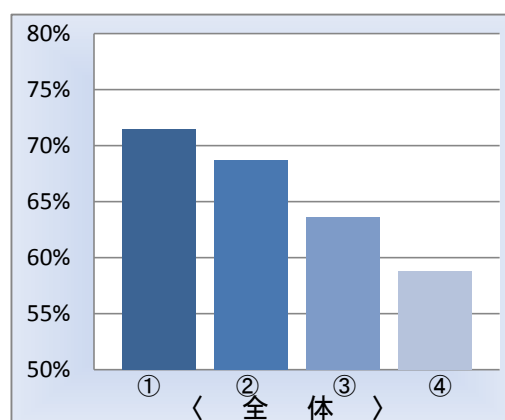
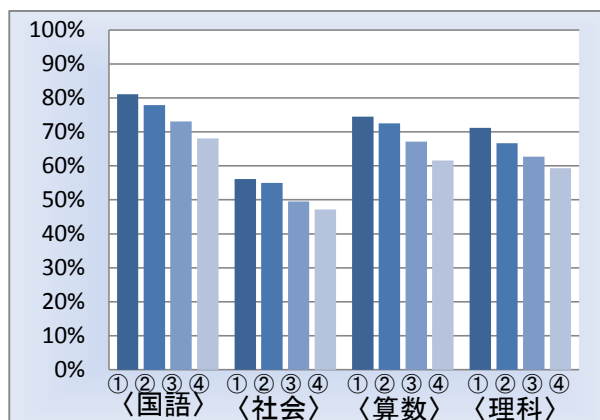
「勉強やスポーツ、習い事などでがんばっているときに、家の人からほめられたり、はげめされたりすることがありますか。」について、「よくある」を選択した児童生徒の平均正答率は小学校で70.3%、中学校で68.9%で高い値を示している。「ときどきある」「あまりない」「全くない」の順に平均正答率は下がり、「全くない」では、小学校で60.1%、中学校で57.8%となっている。

家の人に自分の努力が認められることによって、自分に自信をもち学習や生活に前向きに取り組むことができるようになり、その結果、学力の向上につながっていくととらえることができる。

13 今住んでいる地域の行事に参加していますか。

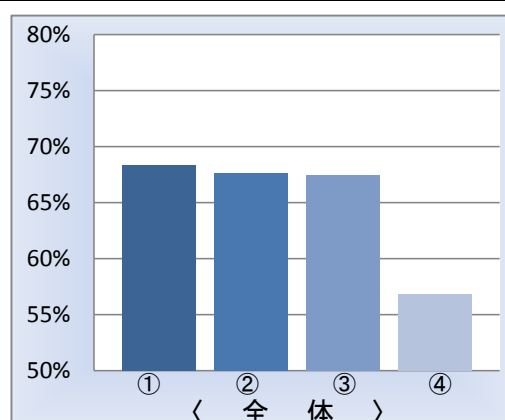
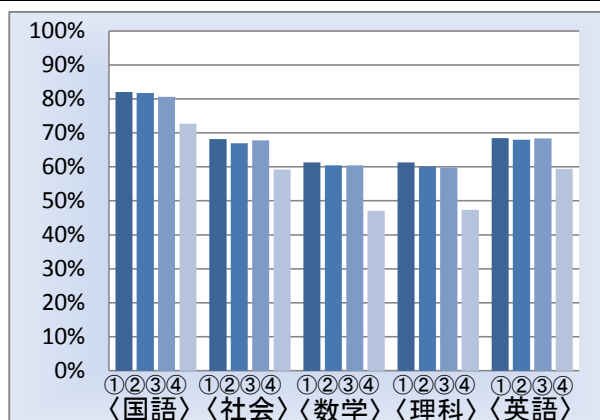
〈小学校〉 各回答別各教科等の平均正答率

	国語	社会	算数	理科	全体
① よく参加している	81.1%	56.1%	74.5%	71.2%	71.4%
② ときどき参加している	77.9%	55.0%	72.5%	66.7%	68.7%
③ あまり参加していない	73.1%	49.6%	67.1%	62.7%	63.6%
④ 参加していない	68.1%	47.2%	61.6%	59.3%	58.8%



〈中学校〉 各回答別各教科等の平均正答率

	国語	社会	数学	理科	英語	全体
① よく参加している	82.1%	68.2%	61.3%	61.3%	68.5%	68.3%
② ときどき参加している	81.8%	66.9%	60.5%	60.1%	68.0%	67.6%
③ あまり参加していない	80.6%	67.8%	60.4%	59.8%	68.4%	67.5%
④ 参加していない	72.7%	59.2%	47.1%	47.4%	59.4%	56.8%



【分析】

◇「地域の行事に参加していない」児童生徒の正答率は、低い傾向にある。

「今住んでいる地域の行事に参加していますか。」について、小学校では「よく参加している」を選択した児童の平均正答率が71.4%で高い値を示し、「参加していない」児童より12.6%上回っている。中学校では「よく参加している」「ときどき参加している」「あまり参加していない」生徒の平均正答率は68%程度で差はないが、「参加していない」生徒は57%程度で、他の項目と10%程度の差がある。

地域行事に主体的に参加していく意欲や態度が学習の際にも生かされ、学力の向上につながっているととらえることができる。